

MY WAY English Expression II : 観点別評価規準

(英語表現 I の復習 1～7、Project Work A~E、Part 2 と 3 は Lesson 21 の後に収録しています。)

2013

●Lesson 1 (p.8~9)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友人の近況、予定などについて、積極的に伝えようとする。 ・現在形、現在進行形、未来進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友人の近況、予定などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形、未来進行形のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・自分や友人の近況、予定などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形、未来進行形を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形、未来進行形を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形、未来進行形の基本的な用法を理解している。

●Lesson 2 (p. 10~11)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友人の課外活動、趣味などについて、積極的に伝えようとする。 ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友人の課外活動、趣味などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・自分や友人の課外活動、趣味などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・未来完了形、過去完了進行形や未来完了進行形の基本的な用法を理解している。

●Lesson 3 (p. 16~17)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友人の家庭内の決まり事、習慣などについて、積極的に伝えようとする。 ・ had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友人の家庭内の決まり事、習慣などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・自分や友人の家庭内の決まり事、習慣などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・ had better, ought to, need (not)などの義務や必要性を表す助動詞の基本的な用法を理解している。

●Lesson 4 (p. 18~19)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友人の旅行や旅行についての思い出やアドバイスなどについて、積極的に伝えようとする。 ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友人の旅行や旅行についての思い出やアドバイスなどについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などのさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・自分や友人の旅行や旅行についての思い出やアドバイスなどについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などを用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などを用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・would, used to などの過去の習慣を表す助動詞や、助動詞を伴う慣用表現などの基本的な用法を理解している。

●Lesson 5 (p. 20~21)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・ 雅楽や歌舞伎などの日本の伝統芸能などについて、積極的に伝えようとする。 ・ 完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雅楽や歌舞伎などの日本の伝統芸能などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などのさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・ 雅楽や歌舞伎などの日本の伝統芸能などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などを用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などを用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・ 完了形や進行形の受動態、受動態を用いた発展的な表現などの基本的な用法を理解している。

●Lesson 6 (p. 20~21)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・アニメやマンガ、J-Pop などの最近の日本の文化について、積極的に伝えようとする。 ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメやマンガ、J-Pop などの最近の日本の文化について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・アニメやマンガ、J-Pop などの最近の日本の文化について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・自動詞＋不定詞やSVO＋不定詞のさまざまな表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 7 (p. 32~33)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの地元や近隣、または居住する都道府県の特産物や特徴的な産業について、積極的に伝えようとする。 疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの地元や近隣、または居住する都道府県の特産物や特徴的な産業について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 自分たちの地元や近隣、または居住する都道府県の特産物や特徴的な産業について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> 疑問詞＋不定詞や完了形、進行形、受動態の不定詞の基本的な用法を理解している。

●Lesson 8 (p. 34~35)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国のさまざまな美術作品や、絵を描くこと、絵画鑑賞などの話題について、積極的に伝えようとする。 ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国のさまざまな美術作品や、絵を描くこと、絵画鑑賞などの話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・日本や外国のさまざまな美術作品や、絵を描くこと、絵画鑑賞などの話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・完了形、受動態の動名詞、動名詞を用いたさまざまな慣用表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 9 (p. 36~37)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・茶道や華道を中心とした日本の伝統的な文化について、積極的に伝えようとする。 ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道や華道を中心とした日本の伝統的な文化について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・茶道や華道を中心とした日本の伝統的な文化について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・目的語として不定詞が続く動詞と動名詞が続く動詞の違いや特徴、不定詞を用いたさまざまな慣用表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 10 (p. 40~41)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなスポーツやスポーツ選手、スポーツ観戦などスポーツに関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなスポーツやスポーツ選手、スポーツ観戦などスポーツに関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・さまざまなスポーツやスポーツ選手、スポーツ観戦などスポーツに関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・完了形の分詞構文、現在分詞・過去分詞を用いた否定の分詞構文や独立分詞構文、with を用いて付帯状況を表す表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 11 (p. 50~51)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・日本や海外の世界遺産、それらを訪ねる旅行に関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や海外の世界遺産、それらを訪ねる旅行に関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・日本や海外の世界遺産、それらを訪ねる旅行に関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や副詞の比較級や最上級、as などを用いたさまざまな慣用的比較表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 12 (p. 52~53)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・日本を含めたアジア各地の食文化の特徴や魅力について、積極的に伝えようとする。 ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を含めたアジア各地の食文化の特徴や魅力について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・日本を含めたアジア各地の食文化の特徴や魅力について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞、関係副詞の非制限用法や複合関係詞の基本的な用法を理解している。

●Lesson 13 (p. 58~59)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や嗜好、食生活、整理整頓など、自分や友人の生活習慣などについて、積極的に伝えようとする。 ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味や嗜好、食生活、整理整頓など、自分や友人の生活習慣などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現の用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・趣味や嗜好、食生活、整理整頓など、自分や友人の生活習慣などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・ifを用いずに条件を表す仮定法の表現や、仮定法を用いたさまざまな表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 14 (p. 60~61)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語や語学学習などについて、積極的に伝えようとする。 ・間接話法や否定のさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語や語学学習などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・間接話法や否定のさまざまな表現の用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・外国語や語学学習などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・間接話法や否定のさまざまな表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・間接話法や否定のさまざまな表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・間接話法や否定のさまざまな表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 15 (p. 70~71)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの節約や代替エネルギー、省エネルギー機器などのエネルギーに関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの節約や代替エネルギー、省エネルギー機器などのエネルギーに関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現の用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・エネルギーの節約や代替エネルギー、省エネルギー機器などのエネルギーに関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・世間一般の人を表す we, you などを含む代名詞を用いたさまざまな表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 16 (p. 72~73)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・ペット、ショッピング、旅行やスポーツ、習い事など余暇の過ごし方に関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ペット、ショッピング、旅行やスポーツ、習い事など余暇の過ごし方に関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文の用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・ペット、ショッピング、旅行やスポーツ、習い事など余暇の過ごし方に関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・「～するとすぐ」を表すいくつかの表現を含むさまざまな時間構文の基本的な用法を理解している。

●Lesson 17 (p. 74~75)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・レイチェル・カーソンと環境問題に関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・レイチェル・カーソンと環境問題に関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものの用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・レイチェル・カーソンと環境問題に関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものを用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・無生物主語構文、名詞構文の代表的なものの基本的な用法を理解している。

●Lesson 18 (p. 74~75)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上の情報、新聞やテレビ、雑誌などさまざまなメディアや伝達手段に関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット上の情報、新聞やテレビ、雑誌などさまざまなメディアや伝達手段に関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いて適切な英語を書くことができる。 ・インターネット上の情報、新聞やテレビ、雑誌などさまざまなメディアや伝達手段に関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・no matter を用いたものを含む譲歩構文の代表的なものを用いて書かれた英語を読みとることができる。

●Lesson 19 (p. 80~81)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな科学や技術に関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな科学や技術に関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものの用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・さまざまな科学や技術に関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものを用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・結果・程度構文、目的構文の代表的なものの基本的な用法を理解している。

●Lesson 20 (p. 82~83)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・なりたい職業を含む将来の進路に関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・強調表現、同格表現の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・なりたい職業を含む将来の進路に関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・強調表現、同格表現の代表的なものの用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・なりたい職業を含む将来の進路に関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・強調表現、同格表現の代表的なものを用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・強調表現、同格表現の代表的なものを用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・強調表現、同格表現の代表的なものの基本的な用法を理解している。

●Lesson 21 (p. 84~85)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・古今の著名な人物の生き様に関する話題について、積極的に伝えようとする。 ・群動詞、郡前置詞の代表的なものを用いたさまざまな表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・古今の著名な人物の生き様に関する話題について、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・群動詞、郡前置詞の代表的なものの用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・古今の著名な人物の生き様に関する話題について、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・群動詞、郡前置詞の代表的なものをういて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・群動詞、郡前置詞の代表的なものをういて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・群動詞、郡前置詞の代表的なものの基本的な用法を理解している。

英語表現 I の復習

●英語表現 I の復習 1 (p. 6~7)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		・ 基本的な時制、完了形の用法についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	・ 基本的な時制、完了形の用法を理解して適切な英語を話すことができる。
	書くこと	・ 基本的な時制、完了形の用法を理解して適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	・ 基本的な時制、完了形の用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	・ 基本的な時制、完了形の用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		・ 基本的な時制、完了形の用法の基本的な用法を理解している。

●英語表現Ⅰの復習2 (p. 14~15)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		・ 基本的な助動詞、受動態の用法についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	・ 基本的な助動詞、受動態の用法を理解して適切な英語を話すことができる。
	書くこと	・ 基本的な助動詞、受動態の用法を理解して適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	・ 基本的な助動詞、受動態の用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	・ 基本的な助動詞、受動態の用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		・ 基本的な助動詞、受動態の用法の基本的な用法を理解している。

●英語表現Ⅰの復習3 (p. 28~29)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な不定詞、動名詞の用法についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な不定詞、動名詞の用法を理解して適切な英語を話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な不定詞、動名詞の用法を理解して適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な不定詞、動名詞の用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な不定詞、動名詞の用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な不定詞、動名詞の用法の基本的な用法を理解している。

●英語表現Ⅰの復習4 (p. 38~39)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な分詞、分詞構文、知覚動詞、使役動詞の用法についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な分詞、分詞構文、知覚動詞、使役動詞の用法を理解して適切な英語を話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な分詞、分詞構文、知覚動詞、使役動詞の用法を理解して適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な分詞、分詞構文、知覚動詞、使役動詞の用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な分詞、分詞構文、知覚動詞、使役動詞の用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な分詞、分詞構文、知覚動詞、使役動詞の用法の基本的な用法を理解している。

●英語表現Ⅰの復習5 (p. 48~49)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		・ 基本的な比較表現、関係代名詞、関係副詞の用法についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	・ 基本的な比較表現、関係代名詞、関係副詞の用法を理解して適切な英語を話すことができる。
	書くこと	・ 基本的な比較表現、関係代名詞、関係副詞の用法を理解して適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	・ 基本的な比較表現、関係代名詞、関係副詞の用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	・ 基本的な比較表現、関係代名詞、関係副詞の用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		・ 基本的な比較表現、関係代名詞、関係副詞の用法の基本的な用法を理解している。

●英語表現Ⅰの復習6 (p. 56~57)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		・ 基本的な仮定法を用いた表現、否定表現、間接話法や時制の一致の用法についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	・ 基本的な仮定法を用いた表現、否定表現、間接話法や時制の一致の用法を理解して適切な英語を話すことができる。
	書くこと	・ 基本的な仮定法を用いた表現、否定表現、間接話法や時制の一致の用法を理解して適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	・ 基本的な仮定法を用いた表現、否定表現、間接話法や時制の一致の用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	・ 基本的な仮定法を用いた表現、否定表現、間接話法や時制の一致の用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		・ 基本的な仮定法を用いた表現、否定表現、間接話法や時制の一致の用法の基本的な用法を理解している。

●英語表現Ⅰの復習7 (p. 68~69)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		・前置詞、接続詞、文修飾副詞の基本的なものの用法についての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	・前置詞、接続詞、文修飾副詞の基本的なものの用法を理解して適切な英語を話すことができる。
	書くこと	・前置詞、接続詞、文修飾副詞の基本的なものの用法を理解して適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	・前置詞、接続詞、文修飾副詞の基本的なものの用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	・前置詞、接続詞、文修飾副詞の基本的なものの用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		・前置詞、接続詞、文修飾副詞の基本的なものの用法の基本的な用法を理解している。

●Project Work

●Project Work A (p. 24~26)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校の特色を、積極的に伝えようとする。 ・想定されるオープンハイスクールで、訪れた中学生たちとコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校の特色や、オープンハイスクールのプログラム、スケジュールについて、話すことができる。また、それらについての質問に答えることができる。 ・説明された学校の特色や、オープンハイスクールのプログラム、スケジュールについて、たずねることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校の特色や、オープンハイスクールのプログラム、スケジュールについて、スピーチ原稿やメモを書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・説明された学校の特色や、オープンハイスクールのプログラム、スケジュールについて、聞き取ることができる。また、質問に対する答えを聞き取ることができる。 ・説明に対する質問への答えを聞き取ることができる。
	読むこと	—
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人の前で話す際に注意すべき事項のうち、はっきり発音すること、声の大きさや抑揚、間の取り方に注意すべきであることを理解している。

●Project Work B (p. 44~46)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> 自分の住んでいる地域（市町村、都道府県など）の特産品に関する事柄を、積極的に伝えようとする。 想定されるスピーチで、聞いている人たちとコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住んでいる地域（市町村、都道府県など）の特産品に関する事柄について、話すことができる。また、それらについての質問に答えることができる。 話し手の住んでいる地域（市町村、都道府県など）の特産品に関する事柄について、たずねることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住んでいる地域（市町村、都道府県など）の特産品に関する事柄について、スピーチ原稿やメモを書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 話し手の住んでいる地域（市町村、都道府県など）の特産品に関する事柄について、聞き取ることができる。また、質問に対する答えを聞き取ることができる。 説明に対する質問への答えを聞き取ることができる。
	読むこと	—
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> 大勢の人の前で話す際に注意すべき事項のうち、音声だけではなく、視覚に訴える手段を併用すると効果的であることを理解している。 自分の住んでいる地域（市町村、都道府県など）の特産品に関する事柄について、理解している。

●Project Work C (p. 64~66)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が大切にしていることば、生活信条、モットーについて、積極的に伝えようとする。 ・想定されるスピーチで、聞いている人たちとコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が大切にしていることば、生活信条、モットーについて、話すことができる。また、それらについての質問に答えることができる。 ・話し手が大切にしていることば、生活信条、モットーについて、たずねることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が大切にしていることば、生活信条、モットーについて、スピーチ原稿やメモを書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が大切にしていることば、生活信条、モットーについて、聞き取ることができる。また、質問に対する答えを聞き取ることができる。 ・説明に対する質問への答えを聞き取ることができる。
	読むこと	—
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人の前で話す際に注意すべき事項のうち、音声だけではなく、アイコンタクトが重要であることを理解している。

●Project Work D (p. 88~90)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・日本に特有なもの、日本のもので自分が気に入っていること・ものなどについて、積極的に伝えようとする。 ・想定されるスピーチで、聞いている人たちとコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に特有なもの、日本のもので自分が気に入っていること・ものなどについて、話すことができる。また、それらについての質問に答えることができる。 ・話し手の考える日本に特有なもの、日本のもので話し手が気に入っていること・ものなどについて、たずねることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に特有なもの、日本のもので自分が気に入っていること・ものなどについて、スピーチ原稿やメモを書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の考える日本に特有なもの、日本のもので話し手が気に入っていること・ものなどについて、聞き取ることができる。また、質問に対する答えを聞き取ることができる。 ・説明に対する質問への答えを聞き取ることができる。
	読むこと	—
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人の前で話す際に注意すべき事項のうち、音声だけではなく、ジェスチャーも重要であることを理解している。 ・日本に特有なもの、日本のもので気に入っていること・ものなどについて理解している。

●Project Work E (p. 112~114)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が20年後にやっていたいこと、職業などについて、積極的に伝えようとする。 ・想定されるスピーチで、聞いている人たちとコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が20年後にやっていたいこと、職業などについて、話すことができる。また、それらについての質問に答えることができる。 ・話し手が語る20年後にやっていたいこと、職業などについて、たずねることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が20年後にやっていたいこと、職業などについて、スピーチ原稿やメモを書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が語る20年後にやっていたいこと、職業などについて、聞き取ることができる。また、質問に対する答えを聞き取ることができる。 ・説明に対する質問への答えを聞き取ることができる。
	読むこと	—
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人の前で話す際の、主に音声以外の注意すべき事項を理解している。

Part 2

●Paragraph Writing 1 (p. 94~96)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の独特の文化、特に年中行事の特色を、積極的に伝えようとする。 ・「例示」を用いて構成されたパラグラフを書くことで、より効果的に読者とのコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	—
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の独特の文化、特に年中行事の特色について、短い英文やパラグラフを書くことができる。 ・例示する表現を使って英文を書いたり、「例示」を用いてパラグラフを構成することができる。
理解の能力	聞くこと	—
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の独特の文化、特に年中行事の特色について書かれた短いパラグラフや英文を読み、内容を理解することができる。 ・例示する表現や、「例示」を用いて構成されたパラグラフを読み、内容や構成を理解することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の独特の文化、特に年中行事の特色について理解している。 ・英語のパラグラフは一定のルールに従って構成されており、「例示」がそのひとつであることを理解している。

●Paragraph Writing 2 (p. 97~99)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> 動物の習性や植物の特徴、その他、さまざまな人やものの類型的な特徴を考察し、積極的に伝えようとする。 「分類」を用いて構成されたパラグラフを書くことで、より効果的に読者とのコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	—
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 動物の習性や植物の特徴、その他、さまざまな人やものの類型的な特徴について、短い英文やパラグラフを書くことができる。 分類する表現を使って英文を書いたり、「分類」を用いてパラグラフを構成することができる。
理解の能力	聞くこと	—
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 動物の習性や植物の特徴、その他、さまざまな人やものの類型的な特徴について書かれた短いパラグラフや英文を読み、内容を理解することができる。 分類する表現や、「分類」を用いて構成されたパラグラフを読み、内容や構成を理解することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> 動物の習性や植物の特徴、その他、さまざまな人やものの類型的な特徴について理解している。 英語のパラグラフは一定のルールに従って構成されており、「分類」がそのひとつであることを理解している。

●Paragraph Writing 3 (p. 100~102)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな国の住居について、その特徴やその背景事情を考察し、積極的に伝えようとする。 ・「比較・対照」を用いて構成されたパラグラフを書くことで、より効果的に読者とのコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	—
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな国の住居に関して、その特徴やその背景事情について、短い英文やパラグラフを書くことができる。 ・比較対照する表現を使って英文を書いたり、「比較・対照」を用いてパラグラフを構成することができる。
理解の能力	聞くこと	—
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな国の住居に関して、その特徴やその背景事情について書かれた短いパラグラフや英文を読み、内容を理解することができる。 ・比較対照する表現や、「比較・対照」を用いて構成されたパラグラフを読み、内容や構成を理解することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな国の住居に関して、その特徴やその背景事情について理解している。 ・英語のパラグラフは一定のルールに従って構成されており、「比較・対照」がそのひとつであることを理解している。

●Paragraph Writing 4 (p. 103~105)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化を始めとする環境問題について考察し、積極的に伝えようとする。 ・「原因・結果」を用いて構成されたパラグラフを書くことで、より効果的に読者とのコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	—
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化を始めとする環境問題について、短い英文やパラグラフを書くことができる。 ・「原因・結果」を示す表現を使って英文を書いたり、「原因・結果」を用いてパラグラフを構成することができる。
理解の能力	聞くこと	—
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化を始めとする環境問題について書かれた短いパラグラフや英文を読み、内容を理解することができる。 ・「原因・結果」を示す表現や、「原因・結果」を用いて構成されたパラグラフを読み、内容や構成を理解することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化を始めとする環境問題について理解している。 ・英語のパラグラフは一定のルールに従って構成されており、「原因・結果」がそのひとつであることを理解している。

●Paragraph Writing 5 (p. 106~108)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行者や留学生の数の推移について考察し、積極的に伝えようとする。 ・「分析」を用いて構成されたパラグラフを書くことで、より効果的に読者とのコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	—
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行者や留学生の数の推移について、短い英文やパラグラフを書くことができる。 ・数値の「分析」をするための表現を使って英文を書いたり、「分析」を用いてパラグラフを構成することができる。
理解の能力	聞くこと	—
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行者や留学生の数の推移について書かれた短いパラグラフや英文を読み、内容を理解することができる。 ・数値の「分析」をするための表現や、「分析」を用いて構成されたパラグラフを読み、内容や構成を理解することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行者や留学生の数の推移について理解している。 ・英語のパラグラフは一定のルールに従って構成されており、「分析」がそのひとつであることを理解している。

Part 3

●Discussion 1 (p. 118~121)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の高等学校のカリキュラム編成の考え方について考察し、積極的に伝えようとする。 ・多くの人との討議をすることにより、自分の主張を理解してもらうよう努めるとともに、他の人の意見を聞き、理解しようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の高等学校のカリキュラム編成の考え方について、自分の考えを積極的に話すことができる。 ・他の参加者の意見に対して質問したり、他の参加者からの自分の意見への質問に対し、答えることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の高等学校のカリキュラム編成の考え方についての自分の意見を、話すためのメモを書くことができる。 ・他の参加者の意見に対して質問したり、自分の意見への質問に対し答えたりするために、他の参加者の発言のメモをとることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の高等学校のカリキュラム編成の考え方についての他の参加者の意見を聞き取ることができる。 ・他の参加者からの自分の意見への質問や、自分が他の参加者にした質問の答えを聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の高等学校のカリキュラム編成の考え方について、自分や他の参加者が用意した資料を読むことができる。 ・日本や外国の高等学校のカリキュラム編成についてのモデルディスカッションを、声を出して読むことができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・日本や外国の高等学校のカリキュラム編成の考え方について理解している。 ・英語でのディスカッションのルールや、特有の表現について理解している。

●Discussion 2 (p. 118~121)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> 動物園の科学的・社会的役割や、自然科学教育、野生動物の保護について考察し、積極的に伝えようとする。 多くの人との討議をすることにより、自分の主張を理解してもらうよう努めるとともに、他の人の意見を聞き、理解しようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 動物園の科学的・社会的役割や、自然科学教育、野生動物の保護についての自分の考えを、積極的に話すことができる。 他の参加者の意見に対して質問したり、他の参加者からの自分の意見への質問に対し、答えることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 動物園の科学的・社会的役割や、自然科学教育、野生動物の保護についての自分の考えを話すためのメモを書くことができる。 他の参加者の意見に対して質問したり、自分の意見への質問に対し答えたりするために、他の参加者の発言のメモをとることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 動物園の科学的・社会的役割や、自然科学教育、野生動物の保護についての他の参加者の意見を聞き取ることができる。 他の参加者からの自分の意見への質問や、自分が他の参加者にした質問の答えを聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 動物園の科学的・社会的役割や、自然科学教育、野生動物の保護についての、自分や他の参加者が用意した資料を読むことができる。 動物園の科学的・社会的役割や、自然科学教育、野生動物の保護についてのモデルディスカッションを、声を出して読むことができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> 動物園の科学的・社会的役割や、自然科学教育、野生動物の保護について理解している。 英語でのディスカッションのルールや、特有の表現について理解している。

●Debate (p. 126~132)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代に至るまでの各種テクノロジーが人間の生活に与えた影響について考察し、自分の意見を積極的に伝えようとする。 ・グループ内で討議をすることにより、自分の主張を理解してもらうよう努めるとともに、他の人の意見を聞き、理解しようとする。 ・チームで討議をすることにより、自分たちとは異なった考え方について理解、分析しようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代に至るまでの各種テクノロジーが人間の生活に与えた影響について考察し、自分の意見を積極的に話すことができる。 ・グループ内、または対抗するグループの他の参加者の意見に対して質問したり、他の参加者からの自分の意見への質問に対し、答えることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代に至るまでの各種テクノロジーが人間の生活に与えた影響について考察し、自分の意見を話すためのメモを書くことができる。 ・他の参加者の意見に対して質問したり、自分の意見への質問に対し答えたりするために、他の参加者の発言のメモをとることができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代に至るまでの各種テクノロジーが人間の生活に与えた影響についての他の参加者の意見を聞き取ることができる。 ・他の参加者からの自分の意見への質問や、自分が他の参加者にした質問の答えを聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代に至るまでの各種テクノロジーが人間の生活に与えた影響についての、自分や他の参加者が用意した資料を読むことができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代に至るまでの各種テクノロジーが人間の生活に与えた影響について理解している。 ・チーム・ディベートのルールや、特有の表現について理解している。